

「学ぶ力」	
成果	課題
◇札幌市全体の共通指標の生徒アンケートや全国学力・学習状況調査の生徒質問調査の結果、「意欲的に授業に参加している」や「学力をより向上させたい」と回答している生徒の割合が高い状態を維持できている。	◇「計画的な家庭学習をしている」生徒の割合を高めていくことが継続的な課題であるため、学校の授業だけではなく、家庭学習とつながりをもたせた活動を充実させていきたい。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇札幌市全体の共通指標の「自分にはよいところがある」や「人の役に立つ人間になりたい」、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の項目において、肯定的な回答が多い。また、学校評価アンケートの結果からも同様の傾向が見受けられる。今後も引き続き、自分に自信をもてる機会や他者のよさを知る場面を学校生活の中でも多く設定していくことが重要となる。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する力

	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
取組	(1) 研究の重点である「教育観を共有し、学年目標の具現化、教育活動の充実」に基づき、教職員が互いの授業計画や授業自体の交流をする機会を設定する。 (2) 学校生活に関する「目標」の整理・共有 (3) 個別探究、協働探究の充実に向けた「目標」「振り返り」の時間の確保 (4) 指導実践の共有	①よりよい学校にするための日常活動や行事活動の充実 ・生徒会、各委員会の活動の充実 ・学級会で自治的な活動について話し合う場を設定 ・さっぽろっ子サミットと関連を図った活動の推進 ②生徒会とパートナー校の児童会による地域をよりよくしていくための活動の検討と推進
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
◇主に(3)や①について、複数のツールを活用し、生徒が効率よく活動に取り組むことができるようにICTを活用する。 ◇①や②について、Googleformで各自の意見を集約し、一人一人の意見や考えを反映するシステムを生かしたり、パートナー校との連携のために、オンラインミーティングの機会を作り、子ども同士の声をつなげられるようにする。		

<本プログラムの実行に向けて>

